

松本市美術館ホームページ・リニューアル及び運用業務

仕様書

1 概要

- (1) 本業務は、松本市美術館公式ホームページが利用者にとって、魅力があり、利用しやすいホームページにリニューアルすることを目的とする。特に、スマートフォンでの閲覧を想定したリニューアルを主眼とする。主なコンテンツとなる「展覧会・イベント」はスケジュールなども含め分かりやすく表示する。また更新しやすい仕様とする。施設利用や交通アクセス等の基本情報についても視覚的・サイト導線等工夫すること。
- (2) 日常の中の一歩身近にある美術館として、親しみやすさを伝え、美術館へ気軽に立ち寄りたくなるようなサイトとする。

2 事業名

松本市美術館ホームページ・リニューアル及び運用業務

3 契約期間

契約締結日から令和7年1月31日まで

4 実施スケジュール

- (1) 構築期間：契約締結日から令和7年1月31日まで
- (2) テスト稼働日：令和7年1月1日、稼働日：令和7年2月1日
※保守管理期間：令和7年1月1日から令和7年3月31日

5 業務概要

主な業務項目は下記のとおりとする。

- (1) ホームページ管理システム環境構築・提供
- (2) 上記(1)に係るCMSの導入及び保守管理
- (3) 既存コンテンツ移行作業
- (4) カテゴリ分類、サイト再構成及び設計
- (5) トップページ及び各ページに係る基本デザインの作成
- (6) 操作研修マニュアルの作成及び操作研修の実施
- (7) 多言語対応
- (8) ホームページ管理システム等の保守運用業務

5 対象ホームページ

対象となる松本市美術館ホームページは、次のとおりとする。

<https://matsumoto-artmuse.jp>

現在使用されているドメインを引き続き使用するものとする。

6 基本方針

- (1) モバイル端末からの利用、とりわけスマートフォンからの利用を基本として、ホームページを設計する。
- (2) サイト全体として、標準化・統一化されたデザインとする
- (3) 専門知識の有無を問わず、職員の誰もが編集を容易に行え、作業の効率化が図れることを目指す。コンテンツの作成にあたっては HTML 言語を意識することなく、一般的なワープロソフトに近い操作性で作成することのできるものとする。画像に関しても簡易なシステムを導入する。
- (4) X、Instagram などの SNS と連動するものとする。
- (5) Google、Yahoo! 等の検索エンジンでの検索性に優れたサイトとする。また、検索の結果表示されるページはトップページであること。
- (6) アクセシビリティ・ユーザビリティに配慮され、誰でも使いやすいホームページを実現すること。
- (7) セキュリティ対策については万全を期すこと。
- (8) 多言語対応とすること（自動翻訳を想定）。
- (9) 著作権に配慮すること。

7 構築に係る条件

- (1) なお、利用するクライアントには特別なプログラムなどを新たにインストール等することなく、ウェブブラウザのみで動作可能であること。
- (2) コンテンツ作成及び管理端末のブラウザ
本市の職員端末環境（Microsoft Edge 最新版、Google Chrome 最新版）で動作すること。Firefox、Safari（mac 版）、のウェブブラウザでも利用可能であること。
また、運用期間中に公開される各ブラウザの最新バージョンにおいて、追加費用なしで対応できること。
- (3) 閲覧可能ブラウザ
下記の各種のブラウザで正常に画面表示ができること
 - ・ Microsoft Edge 最新版
 - ・ Google Chrome 最新版
 - ・ Firefox 最新版
 - ・ Safari 最新版

・ iPhone/iPad、 android の標準ブラウザ

8 構築に係る要求

- (1) 画面の大きさ・解像度が異なるパソコンやスマートフォンなどで、それぞれ最適に表示され、利用者が快適に閲覧できるようにすること。特に、スマートフォンは画面サイズが小さいため、きちんと文章が読め、ボタン等がクリックできるようなデザインとすること。
- (2) 公開前に関係者が内容確認できる、パスワード等で保護された、一般には非公開のテストサーバーを準備すること。
- (3) Web コンテンツは、可能な限り Web ブラウザの種類によらず動作可能なコンテンツとすること。
- (4) 日本工業規格 JIS X 8341-3:2016「高齢者・障害者等配慮設計指針－情報通信における機器、ソフトウェア及びサービス－第3部：ウェブコンテンツ」に配慮すること
- (5) テキストサイズ（大および標準）を変更するボタンを有すること。
- (6) 原則として3クリック以内で目的とするコンテンツに到達できること。
- (7) コンテンツの作成時に指定した日程で自動的に情報公開できること。
- (8) システム管理によるコンテンツの公開(Web サーバへのアップロード)ができること。
- (9) ユーザアカウントの設定について、管理部門で容易に変更できること。
- (10) サイト管理者によるアクセスログの解析が行えること。
- (11) 美術館ホームページ内において検索機能を有すること。
- (12) 美術館を紹介する日本語の文章、写真等の資料は既存ホームページのデータを利用するとともに美術館が用意をするが、必要に応じて追加撮影や要約、整備を行うこと。
- (13) 日時を指定した予約投稿ができること。また、過去にさかのぼった日付での投稿ができること。
- (14) YouTube の動画の埋め込みに対応すること。
- (15) 画像データの管理、編集、登録などが容易にできること。
- (16) 画面印刷に配慮したデザイン・構成であること
- (17) コンテンツ作成において、ページのレイアウト及びデザイン情報は、コピーして再利用ができること。また、作成中のコンテンツを一時保存でき、再ログイン後に再開できること。

9 制作（デザイン構成）

(1) 共通事項

- ア 松本市美術館の特徴・イメージが反映され、なおかつ親しみやすさを感じさせるものとする。
- イ 美術館への来館意欲の高まる要素を盛り込むこと。

(2) 「トップページ」の主な構成要素

- ア 開催中の展覧会、その日に行われる催し、会場、休館情報などに加え必要な新着情報等を表示できること。また、管理者が指定するお知らせを、重要なお知らせとしてピックアップして表示できること。
- イ サイトマップ・ナビゲーションなどを美術館の特性を分析のうえ必要に応じて設置すること。
- ウ 松本市美術館公式 SNS (X、Instagram など) のアイコンを表示すること。アイコンはホームページと調和したデザインであること。
- エ トップページ下部に、よくある質問、問い合わせ、アクセス、プライバシーポリシー、プレス向け情報のメニューを表示すること。
- オ トップページは企画展やイベント等に合わせて適宜更新されること。
- カ サイト内検索を設置すること

(3) 「展覧会・イベント」主な構成要素

- ア 企画展情報（各展覧会の基本イメージ、概要、観覧料、関連プログラムなど）
- イ コレクション展示情報（常設展示室 ABC および各記念展示室で開催中のコレクション展情報）
- ウ 過去に開催した展覧会情報のアーカイブ
- エ 年間スケジュール（今後の開催予定）
- オ 今後のイベント・ワークショップ情報（日時・講師・場所・内容・参加申し込み用フォーム等）
- カ 過去のイベント・ワークショップ情報（日時・講師・場所・内容等をアーカイブ化）

(4) 「コレクション」の主な構成要素

- ア 収集方針
- イ コレクション検索（既存の外部ページへのリンク）

(5) 「学び・体験（学校関係、実習関係）」の主な構成要素

- ア 学校・団体鑑賞情報（学校向けプログラムの紹介や鑑賞教材のダウンロードなど）
- イ 学校連携（職場体験学習など）
- ウ 博物館実習の案内

(5) 「利用案内・アクセス」の主な構成要素

- ア ご利用案内（開館情報・入場料金等・住所、交通アクセスなど）
- イ 団体申込案内（(学校・一般) 鑑賞情報（減免のオンライン申請フォームへのリンク））
- ウ 入館時のお願い（鑑賞時の注意事項などを紹介するもの）

(6) 「施設案内」の主な構成要素

- ア フロアガイド
- イ 貸館情報

- (ア) 利用の流れ（申込から利用完了までのフローチャート、お願いごと等）
- (イ) 貸し施設の情報（各施設の図面等）
- (ウ) 備品、設備案内
- (エ) 利用料金表
- (オ) よくある質問
- (カ) 利用申し込みのオンライン申請フォームへのリンク
- ウ カフェ・レストラン情報
- エ ミュージアムショップ情報
- オ バリアフリー設備等の紹介
- (7) 「松本市美術館について」の主な構成要素
 - ア 基本情報（美術館の方針、館長あいさつ、沿革、建築デザイン・ロゴマーク）
 - イ 出版刊行物（松本市美術館ニュース「あーとふる」、自主企画の図録など）
 - ウ 友の会情報（入会案内、活動紹介、PDF のダウンロード等）
- (8) その他
 - ア お客様からの問い合わせはメールではなく、すべて問い合わせフォームで対応すること。
 - イ Google マップなどを用いて周辺観光地・駐車場等の位置関係を把握できるようにすること。

10 操作マニュアル・研修

ホームページ構築後、操作マニュアルを提供すること。また、美術館職員に対して、操作研修を必要に応じて行うものとする。

11 保守・管理

受託者が通年、一般的な内容について行うものとする。

具体的な内容については以下の通り

(1) ホスティングサーバー及びシステム保守

松本市美術館のサイトを置くホスティングサーバー及びCMSシステムの監視及び保守点検を定期的に行い、良好な動作環境を維持するとともに、万全なセキュリティ対策を講じること。また、CMSシステムのバージョンアップに対応すること。

(2) 固定ページの情報更新

固定ページの情報に修正等があった際は、発注者が作成した原稿の内容に沿って更新すること。

（画像差し替え・文の変更・追加等を想定）

(3) バナーの掲示などの軽微な作業

連携イベントのお知らせなど発注者よりバナー掲示の要望があった際は、バナーを掲示すること。

また、軽微な文字や画像修正やPDFファイルの差替え等の修正作業を随時行うこと。

(4) データバックアップに関する作業

障害が発生した際に速やかに復旧が行えるよう、CMS内のコンテンツデータについて1回/月定期的なバックアップを行うこと。

(5) 緊急時の対応に関する作業

サイトに障害が生じた際には、営業時間内において速やかに対応すること。

1.2 支払方法

上記9の業務が完了次第、担当課は内容を確認の上検収し、受託者の請求により契約額を全額支払うものとする。

1.3 その他

(1) 本仕様書に明示されていない事項でも、業務の性質上必要なもの、業務遂行において生じる具体的な問題等については、美術館の担当者と協議の上で柔軟に処理し実施すること。

(2) 契約日から令和7年3月31日までに発生するリニューアル後のホームページ保守管理費用については、協議の上、別途契約を締結する。

(3) 契約日から令和7年3月31日までに発生するホームページリニューアルに係るホスティングサーバ月額使用料、ドメイン使用料、多言語対応プラグイン使用料については、協議の上、別途契約を締結する。